

# あなたの周りに

いわき市立勿来第二中学校

三年 小田 沙和 さん



三十四万六千四百八十二人、この数字は何を表しているか分かりますか。これは、令和五年度の小中学生の不登校の数です。十年前に比べると、小学生の不登校は約五・四倍、中学生は約二・二倍も増加しています。今現在のいわき市の人口が、約三十一万人なので不登校の児童生徒がいかに多いかがわかります。

中学生の不登校の原因で一番多いのは「無気力・不安」です。「学校で勉強や部活動をがんばりたい」「友達に会いたい」などの気持ちが薄れ、結果として不登校になってしまいうらしいです。また、いじめや友人関係などでストレスがかかっている場合もあります。

実際、私も中学一年生のときに、学校へ行きたくない時期がありました。私の場合、特に大きな原因はありませんでした。しかし、一日、また一日と休んでしまうと学校が嫌になってきました。

「明日こそは、学校へ行こう」と前日の夜は思っています。しかし、翌朝になると具合が悪くなり、結局休んでしまいます。そんな自分が嫌になり、「自分はダメで弱い人間だ」と落ち込んでいました。

そんな私を、母が見かねて「どうしたの？何かあったの？」と声をかけてくれましたが、心配をかけたくないのもあり「大丈夫。何でもない」と答えていました。このときの私は、誰にも相談せず、自分で解決できると思っていました。

しかし、事態は余計に悪化していったのです。自分でも、何で学校に行けないのかも分からなくなっていました。欠席日数に比例して焦りも増えていきました。そこで、ある日、思い切って家族に相談してみました。話をしていると自分を客観的に見つめることができ、あんなに思い悩んでいたことがウソのように、気持ちが軽くなっているのを感じました。それから、学校へも行けるようになり、今では毎日楽しく学校生活を送っています。

今、何かに悩んでいる人は、出口が見えないトンネルの中をさまよっているようで焦ったり、不安に襲われたりしているかもしれません。以前の私のように・・・私も経験した一人としてそんな人たちに伝えたい。「一人で悩まないで、誰かに相談してください。きっと出口が見つかるから。」

いわき市には電話相談の「すこやか教育相談」があります。福島県には「ふくしま二十四時間子どもSOS」があります。専門機関でなくても家族や先生、友達誰でもいいのです。あなたの周りには、あなたを心配してくれる人、あなたの話に耳を傾けてくれる人が必ずいます。あなたの力にきつとなってくれるはずです。

誰でも一人で生きてはいけません。お互いが助け合って生きています。だから、もっと周りを見てください。気づきませんか？あなたを心配し見守る温かな眼差し、あなたが困っているときに差し出してくれる優しい手。あなたの周りには、優しさがあふれています。だから、勇気を出して誰かに相談してください。あなたの輝かしい未来のために・・・。

